

ののうち

発行: ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—January

発行日:2014年1月30日

ののうちの まこと

VOL
10

平成26年も頑張ります

野々内は、昨年4月に2度目の
松江市議会議員の当選をさせていただきました。
議会では、教育民生委員長と
議会広報等特別委員長に選出され、
日々忙しく動き回っています。
東出雲地域の発展はもとより松江市の発展のために、
提言や課題の解決に努めてまいります。
平成26年も頑張ります。



12月松江市議会

12月議会は、12月4日から20日までの
17日間の会期でした。このうち、「認知症
対応型共同生活介護事業所における低所
所得者への負担金軽減事業の実施に関する
陳情」は、教育民生委員会委員長の野々
内が委員会の審査状況を報告し、委員長
の報告通り全会一致で採択となりました。

条例案件では、野々内が松江市歯科
医師会と関わった「松江市歯と口腔の健
康づくり条例の制定」や「消費税法及び
地方税法の一部改正に伴う関係条例(9
8条例)の整備」、「八雲支所の位置をアル

バホールに改める条例改正」などを原案
の通り可決しました。

また補正予算では、一般会計は13億
2570万円の増額補正で、木質バイオマ
ス発電関連事業費4億8140万円、休日救
急診療事業費300万円、千鳥町再開発事
業に伴う道路側溝新設改良事業2400万
円、小中学校の非構造部材耐震対策事業
費1000万円などが盛り込まれています。

最終日には、野々内は、教育民生委員
会に付託された20件の議案の審査経過
と結果を報告しました。そして、上程され
た議案は全て原案の通り可決されまし
た。また、陳情3件(島根原発の再稼動に

対する慎重な判断を求めることについ
て、島根原発の「規制基準適合性審査」
申請の事前了解願いに関する市民説明
会開催を求めることについて、性的指
向・性自認に基づく差別を禁止する条例
の制定を求めることについて)の採決も
行なわれ、3件とも不採択になりました。

閉会にあたって松浦市長から発言があ
り、都市計画の線引きの問題については
もう少し時間をかけて検討したい、島根
原子力発電所2号機の新規制基準への
適合性確認申請については了承するな
どと述べました。(予算金額や提出議案の詳細
は市ホームページや市報等をご覧ください)

一般質問

野々内は、12月定例市議会でも連続9回目の一般質問を行ないました。(一般質問とそ
の回答の全文はホームページ
のブログで紹介しています)

Q 社会保障制度と

ものづくり産業の 振興について

介護保険の要介護度改善への成功報酬制度等、医療と福祉の連携に取り組み考えはないか。

少子高齢化の進展で、限られた財源で現状のまま社会保障を維持し続けることは困難な状況です。

岡山市の「総合特区」は、要介護度の改善事業者を対象に介護報酬を上乗せする制度や、食事支援ロボットなど最先端の介護機器の使用などを検討しています。本市でも医療と福祉の連携などの取り組みを、今以上に取り入れる考えがないか伺います。



松浦市長 社会保障関連経費を削減していくことは、日本全国共通の課題ですので、岡山の状況をよく情報収集していきたいと思っています。

医療、福祉・介護の連携を密にしていく中で経費を削減し、雇用・ビジネスチャンスにつながるよう医療統括監を置きました。

介護用ロボットの開発を医療と福祉、ものづくり産業の連携で進める考えはないか、その研究拠点として島根大学に工学部設置を働きかける考えはないか。

松浦市長 ものづくりアクションプランの中で、本市が持っている技術やITを活用して産業振興に繋げていこうと考えています。介護用ロ

ボットの開発も、大変面白い考え方だと思っています。今、産業振興センターでは、高齢者・障がい者のコミュニケーション支援システムの開発プロジェクト支援やものづくりチャレンジ支援事業補助金を今年度創設しました。

工学部設置という提案は、今島大総合理工学部にはロボット工学研究室があります。まずはこうした産学官の連携を二層進めていく事からやって行きたいと思っています。

Q 農業施策について

人・農地プランの取り組みについて、本市における状況を問う。

国はTPP交渉が妥結して安い農産物が多く輸入される事態に備える目論見から、大規模農家対策に重点を置いており、その展開として「人・農地プラン」を策定するように促し、本市では12地区でこのプランが策定されたと聞いていますが、農家に対しての営農の取り組みを今後どう支援する考えですか。

矢野産業観光部長 人・農地プラン策定の状況は、本年12月中には市

内全域をカバーすることになります。この計画に基づき、青年就農者給付金や離農農家に給付する農地集積協力金などの国の補助制度を活用するとともに、市農山漁村地域活性化条例に基づく支援策を考えています。

米の生産調整「減反」の廃止について、仮に実施された場合の影響と、今後の考えはどうか。

矢野産業観光部長 国は米の生産調整「減反」の廃止に向けて比較的転換が容易な飼料用米への作付けを促しています。

来年度から減反制度の廃止に向けて動き出そうとされていますが、国の制度の影響を注視し農業の持続的発展・農村集落の維持・活性化に向けて必要に依りて市長会等通じて国等への提言・要望をしたいと考えています。



持続可能な農業への支援が必要です

松江市農山漁村地域活性化基本条例に基づく支援制度の状況と

成果、平成26年度の考えはどうか。
矢野産業観光部長 今年度は4地区で新たな営農組織化や営農組織に対するトラクターなどの農業用機械の購入補助、地域内での見守り活動などの実施地区に、支援していく予定です。

平成26年度では新たな営農組織に機械購入助成を4地区で検討。また、就農給付金の対象年齢をこれまでの上限65歳を70歳まで引き上げて、新たな担い手の確保や後継者の確保について推進をしたいと考えています。

Q 一人親対策について

私は母子家庭の方から相談を受けることが多くあります。この皆さんの厳しい現状をどう考えますか。

また、ひとり親への既存制度は多岐にわたり、知らない親も少なくありません。市のホームページにひとり親への情報提供のバナーをつけそこをクリックすれば、各種制度の紹介や相談先などの情報提供、Q&Aなどがいつでも見れるようになって便利だと思いますが考えを伺います。



誰もが幸せになるために支える仕組みの充実を

田中健康福祉部長 母子世帯が直面をしている状況は厳しいものがあると認識しています。市ではひとり親家庭を支援するための様々な制度を設けていますが、その周知は離婚届を提出された時点など窓口での直接説明、市報、ホームページに掲載をしています。

今後指摘のように、ホームページにバナーをつけて各種制度を詳しく紹介するなど、利便性を向上させる工夫をしたいと考えています。

既存の制度や事業の活用状況について問う。市役所で母子家庭の母親に特化した臨時職員雇用を進める考えがないか、併せて問う。

田中健康福祉部長 ひとり親に対しての各種の制度や利活用の状況は、現在市では母子自立支援員の配置、福祉医療費助成・児童扶養手当・母子寡婦福祉資金・母子家庭自立支援給付金・ひとり親家庭高校通学費助成などの制度を設けて支援を行っています。

松浦総務部長 市の臨時職員の採用は、母子家庭の方などの事情も考慮しながら対応しています。

子どもの貧困対策の推進に関する法律における貧困率対策について問う。また、子ども子育て支援計画策定への考えを問う。

田中健康福祉部長 地方公共団体は本法律によって、地域の状況に応じた施策を策定する事になっており、まずは国の動向を注視したいと考えています。

子ども子育て支援事業計画は子供に対する保護者の責任を第一義としながらも、全ての子供と子育て世帯を社会全体で総合的に支えて行くための仕組み作りという事で、松江市子ども子育て会議を設置し、そのご意見を伺いながら横断的・積極的にこの計画づくりを進める事になっています。

未婚の一人親への支援対策について
田中健康福祉部長 保育料・公営住宅の家賃は所得税を料金算定の基準としている以上、まず税法において寡婦の定義がどうなるのかという事を見守るとともに、先例他市の状況を調査していきたいと考えています。

(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

2月議会予定

- 2月26日(水) 本会議・予算特別委員会
- 3月3日(月) 一般質問
- 4日(火) 一般質問
- 5日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 6日(木) 予算特別委員会(質疑・分科会委託)
- 7日(金) 総務委員会
- 10日(月)
- 11日(火) 教育民生委員会
- 12日(水)
- 13日(木) 経済委員会
- 14日(金)
- 14日(金) 建設環境委員会
- 18日(火)
- 24日(月) 予算特別委員会(分科会長報告・採決)
- 26日(水) 本会議

最近の活動から

総合交通対策特別委員会の行政視察

11月20日から22日、総合交通対策特別委員会の視察研修に出かけました。東京都八王子市では、山間地域における交通改善モデル事業の視察、茨城県ひたちなか市では市民も参加した三セク鉄道会社「ひたちなか



ひたちなか海浜鉄道の列車の中での研修

海浜鉄道」の研修、日立市では、山間の住宅団地での「既存バス路線の活性化」、いずれも市等からの支援はあるものの、住民が自分たちのこととして意識を持った取り組みであり、行政依存ではなく、住民が地域交通事業を運営していく時代になったと感じました。

MJG島根硬式野球クラブ

東出雲町発の島根県唯一の社会人硬式野球クラブである「MJG島根硬式野球クラブ」。12月13日に同クラブの納会が松江市内のホテルであり参加しました。クラブ関係者やファンクラブ有志など30人余が集まり、スポーツマンらしく爽やかに明るく納会が進みました。三原 隆代表は「結成4年目にして点が取れるチームに成長し練習試合の申し込みもあるようになった。来季は全国のクラブ選手権に関わりたい」と抱負を述べました。野々内は顧問就任を要請され快諾しました。



あいさつする三代隆MJG島根代表

教育民生委員会の行政視察

10月29日から31日、教育民生委員会の行政視察で、秋田県・青森県を訪れました。秋田県能代市では「学力向上の取り組みについて」の視察。秋田県は今年度の全国学力テストで第1位、この数年も同様の成績で、秋田県の中でも能代市は上位の成績を納めています。ちなみに島根県は36位。「私たちは当たり前前ことを当たり前前に行っているだけです」と説明されましたが、教師・児童とも熱中して授業を展開している様子は、長い間に裏打ちされた教員・市教委・保護者・地域の連携の賜物とみえました。

30日は秋田市で市立秋田総合病院での法人化、31日は青森県弘前市で児童福祉関連の視察を行いました。



能代市での視察状況

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.10を発行いたしましたので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>



ホームページを開設しています。
ブログもやっています。
お気軽にケイタイからご覧いただけます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、63歳。
母と長男夫婦と同居（妻とは死別）長女は結婚し独立
住所 / 松江市東出雲町出雲郷1670
電話 / 0852-52-3117 (FAX兼用)

【学 歴】

昭和44年3月 / 島根県立松江農林高等学校卒業

【職 歴】

昭和44年4月～平成23年3月 / 東出雲町職員（企画財政課長、保健福祉課長、教育委員会教育次長、総務課長、参事）
平成25年4月 / 松江市議会議員選挙2期目当選

【活動歴】

出雲郷公民館主事（11年間）、出雲郷公民館運営委員、体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、出雲郷小学校PTA会長（3年間）、PTA連絡協議会会長、松江市農業委員、体育協会出雲郷副支部長